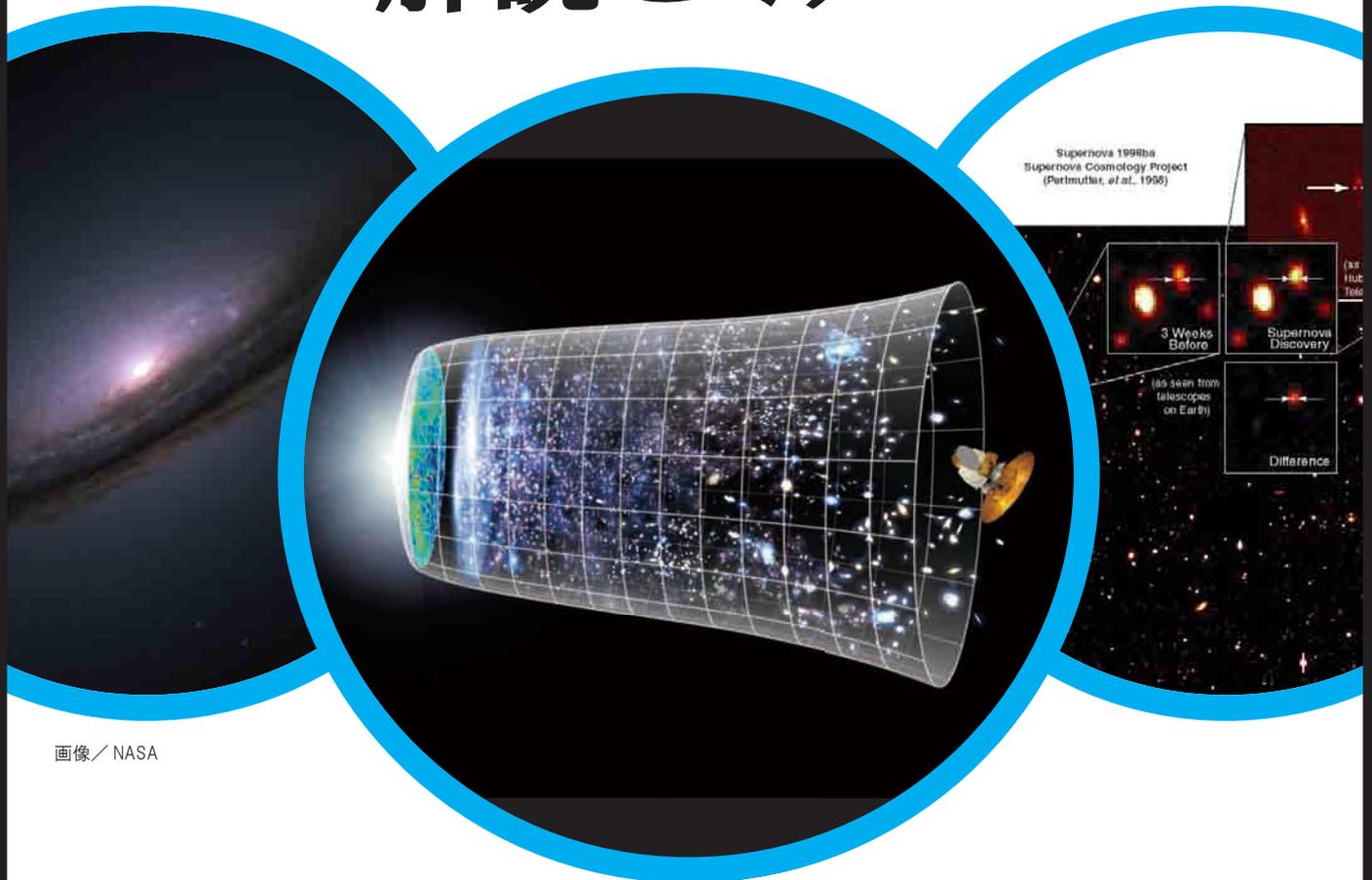


2011年 ノーベル物理学賞 解説セミナー



画像 / NASA

今年のノーベル物理学賞は米ローレンス・バークリー国立研究所のソール・パールマター博士、オーストラリア国立大のブライアン・シュミット博士、米ジョンズホプキンス大のアダム・リース博士の3氏に贈られます。受賞理由は「遠距離の超新星観測を通じた宇宙の膨張加速の発見」です。理学研究科では天文学専攻、物理学専攻にこの分野の専門家がいらっしゃるのので、これらの解説と関連した話題を聞かせていただく機会を設けることにしました。主な対象はこれらの専攻の学部学生、大学院生、教員の皆様ですが、他学科・他専攻の皆様もご参加いただけます。ぜひご参加ください。

天文学専攻長 千葉征司、物理学専攻長 石原照也

●講演

「加速膨張発見の経緯とその原因の観測的究明」

天文学専攻 二間瀬敏史 教授

「暗黒エネルギーと不自然な宇宙」

物理学専攻 高橋史宜 准教授

2011.11.25
16:30-18:30
理学部物理B棟
301号室